

河川事業の再評価概要書

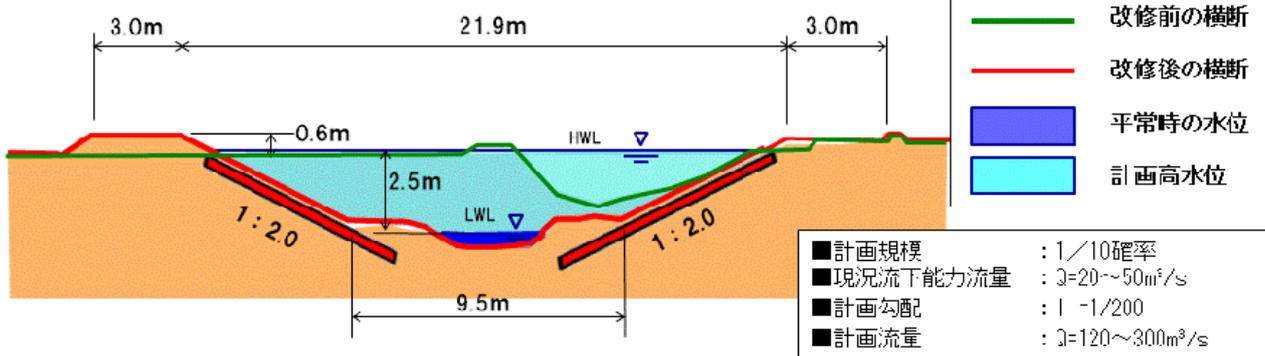
番 号		1	
事業主体		栃 木 県	
事業名	安全な川づくり事業	事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>すがたがわ</small> 姿川	事業箇所名	宇都宮市 <small>しるやま</small> 城山
事業区間	<small>うつのみやし</small> 宇都宮市 <small>しもあらはりまち</small> 下荒針町地先 ～ <small>おおやまち</small> 大谷町地先	事業延長	4,000m
平成12年度事業化		平成12年度用地着手	
平成12年度工事着手			
事業期間	H12年度～H35年度	事業進捗状況	基準年次：【平成26年度末時点】
(うち用地補償費)	(11億円)		進捗率
全体事業費	30.6億円		(うち用地補償費) (8.1億円) (74%) 既投資事業費 24.6億円 80%
事業概要			
<p>姿川は、宇都宮市北部の古賀志山地<small>こがし</small>の鞍掛山<small>くらかけ</small>にその源を発し、宇都宮市西部を流下した後、小山市半田地先で思川に合流する河川である。</p> <p>計画区間は流下能力が不足していることから、豪雨時には家屋、農地などに浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、河積の拡大を図り、氾濫を防止し被害の軽減を図る。</p>			
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
流域内において、大きな土地利用の変化はなし。			
事業の投資効果			
① 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
1) 事業全体	B/C = 2.5	97.6億円	39.4億円 [L=4,000m区間]
2) 残事業	B/C = 3.8	19.9億円	5.3億円 [L=1,125m区間]
② 事業の整備効果等			
整備を図ることにより、宅地や農地の浸水被害が解消される。			
事業の進捗状況等			
① 事業の進捗状況			
県営圃場整備事業（姿川地区）と事業調整を図りながら、下流より整備を進め、平成26年度末時点における進捗率は約80%の予定である。			
② 今後の事業進捗の見込み			
残りの区間については、計画的な整備が図れる見込みである。			
コスト縮減等			
① コスト縮減方策			
整備の際発生する残土については、圃場整備事業等近接工事への残土流用を活用し、工事費の縮減を図っている。			
② 代替案立案等の可能性			
計画区間の下流については、思川合流点までの改修が完了していることから、遊水地等による代替案よりも、河川の拡幅を行う現計画が妥当である。			
事業の対応方針（案）		現計画で事業を継続する。	

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



概要図

